

部活の地域展開は子どもの希望を大切に 防災対策に行政の支援を！

大井議員
一般質問
(録画)

中学校部活の地域展開まで1年余り、準備を万全にするための課題解決を

大井議員の質問

- 話を具体的にするため、軟式野球を例に質問する。昨年9月の小学4～6年生アンケートによれば、地域クラブへの入部希望者は129人。設立する地域クラブは3ヶ所。1ヶ所平均43人。これで満足のいくトレーニングが出来るのか。
- 小学生アンケートによれば、部活動は週3日以上または4日以上やりたい子が、9割以上を占める。一方設立する地域クラブの実施予定は週2日。子どもの意向に沿えないのではないか。
- 卓球では中学部活入部希望者が101人もいるが、引き続き地域クラブに移行したい子は36人しかいない。原因をどう見るか。

地域クラブの収益や効率をメインに検討するのでなく、あくまでも子ども中心に準備を進めるべき。アンケート結果の解釈も、都合の良い希望的観測ではなく、課題の解決を求めました。

激甚化・多発化する自然災害に備え、実効性のある防災計画と体制確立を

- 2022年11月議会で台風15号の教訓を総括し、マニュアルを改定する旨答弁があった。進捗状況はどうか。
- 市内の全33地区で地区防災計画の作成状況はどうか。また市内234の自主防災組織では、作成・保管すべき4つの台帳は作成されているか。



地域の防災対策をしっかり整備するには、地域任せにせず、行政がきちんと支援すべきです。掛川市が企業などと結んだ災害協定が237あり、協議や訓練の状況を確認できました。

日本共産党市議会だより

《2月定例会報告号》

勝川志保子 22-1325 大井正(090)9918-4515 ご意見・ご要望をお寄せください

第16号 2025年4月

【発行:日本共産党議員団】

市の答弁

- 現時点では3クラブの設立予定だが、更に調査を続け、秋には体験実習も行い最終決定したい。野球に関しては増やす為の指導者などは揃えられる。設立したけれど子どもが集まらない事態は困る。
- ハードな部活を望む子は、硬式野球クラブへ流れるのではないかと。調査を続け子どもの要望に応えられるようにする。
- 卓球を選ぶのは、お手軽なスポーツを楽しみたい子が多い。だから地域移行に伴い、様々な選択肢があると、別の種目に流れるのではないかと。また、競技志向が強い子は市外の強豪クラブを選ぶと思う。

勝川議員
一般質問
(録画)

子育て支援のための無償化を 安心して暮らせる維持管理に優先的に予算を！

子育ての無償化拡大を

勝川議員の質問

- たまり～な屋内遊び場みろっこの子どもの利用料金は近隣に比べても高い。子どもからお金を取ってはいけない。ぜひ見直しを。
- 3歳未満児の保育料が有料で大変な世帯が多い。子育ての応援を。
- 学校給食費は本来義務教育では無償にするべき。安心して安全なおいしい給食のためには公が責任を持って。
- 国保の子ども均等割はチャイルドペナルティ(子育て罰)そのもの。改善をしてほしい。

近隣自治体こども館の利用料金の比較

自治体名	浜松市	島田市	藤枝市	焼津市	掛川市
名称	浜松こども館	島田市こども館 プレイルーム「ぼるね」	れんげじすマイルホール キッズパーク	ターントフルこども館 焼津おもちゃ美術館	mirocco(みろっこ) 2025年7月オープン
設置母体	浜松市	島田市	藤枝市	焼津市	掛川市
運営形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	DBO方式
区分け	市内・市外区分け無し	市内 市外	市内・市外区分け無し	市内 市外	市内 市外
就学前児童	無料(保護者同伴)	無料(保護者同伴)	無料	無料	400円 500円 (1歳未満は無料) (1歳未満は無料)
小学生	100円	100円	無料	100円 500円	400円 500円
中学生	100円	—	—	200円 700円	400円 500円
高校生	100円	—	—	200円 700円	400円 500円
大人	200円	100円 200円	無料	500円 1000円 シニア200円 シニア700円	400円 500円
備考	回数券有	回数券有 2時間ごとの入れ替え制	小3以下は保護者同伴 1時間ごとの入れ替え制	市内の小学生は 保護者1名につき 小学生1名無料	
1歳以上就学前児童1名と小学生1名と大人1名の市内料金は?	300円	200円	無料	500円	1200円

市の答弁

- 障害者や高齢者減免はある。採算が必要。(みろっこ)
- 多子について年齢制限の見直しを検討する。(保育料)
- 財政負担が大きくて考えられない。国の動向を見る。(学校給食費)
- 国に求める。(国保子どもの均等割)



受益者負担・自己責任でなく子どもは社会が育てるという姿勢に変えることが重要。市が優先順位を変えて予算配分することが経済の好循環もつくります。就学援助の拡大ももとめました。

今ある施設、インフラの維持管理を徹底し安全で心地よいまちに

- 歩道がガタガタ、道路や横断歩道の白線が消えている、危険箇所がなかなかおらない。公園も石ころだらけ、草ぼうぼう。生涯学習センターの段差やトイレ改修はどうするのか。LINE 通報枠も広げて、とにかく市民の声を受け取ってほしい。

予算配分の優先順位を変え、しっかり維持管理できる予算になること、市役所が市民の声を受ける窓口として責任を持つことが大事だと思います。

投票所の見直し、選挙に行きやすくする改善を

- 第2投票所(第一小)は坂や段差も多く、高齢者が自分で行けない。見直しを早急に。市内全体の見直しや期日前投票の改善も。

- (第一小は) ずっと検討しているが、いろいろな意見があって移せないでいる。施設の安全面や有権者数、駐車場の確保などを踏まえ市内全体検討していく。

「自分で投票所に行く」という当たり前の権利を保障してほしいです。

質問後に直された
県道横の側溝のふた生涯学習センター
フロアの陥没箇所